



IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒112-0013 東京都文京区向音羽1-1-9 Email: info@imj.or.jp FAX: 03-6912-0376

認定施設紹介

医療法人直心会 帯津三敬病院

名誉院長 メッセージ

医療法人直心会 帯津三敬病院

名誉院長 帯津 良一

ホリスティック医学を追い求めて29年。いまだ一つの方法論としてのホリスティック医学を手にはしていません。日暮れて道遠しの感を否めませんが、少しも悲観してはいません。なぜならば、こうして理想のホリスティック医学を追い求める日々がそのまま私自身がホリスティックに生きる日々であるからです。

作家の田口ランディさんが慰めてくれました。ホリスティック医学は形ではありません。患者さんを中心に家族、友人、そしてさまざまな医療者が織り成す場のなかで、それぞれがそれぞれの生と死の物語を展開していればいいんですよ。

その通りだと思います。

そして、生と死の物語を展開するための第一歩は生きる哀しみを理解することにあります。職員の一人残らずが生きる哀しみのわかる人になってくれることを切に願っています。



医療法人直心会 帯津三敬病院

〒350-0021 埼玉県川越市大字大中居545番地

TEL 045-235-1981 FAX 045-235-8063

ホームページ <http://www.obitsusankei.or.jp/index.html>

施設紹介

ホリスティック医学を追い求める旅もほぼ最終章、最後の聖戦を挑むべく病院を新築移転したのが平成21年の4月。病院の北側と西側に広がる田園、特に田植えどき、水を漲った田ごとに映える夕日か美しい。田毎の月とはこのことか。

玄関を入ると正面に、病院の理念「今日よりも良い明日」が輝いている。ホリスティック医学というものは性急に治った治らないの二極化を求めるのではなく、一歩前進の積み重ねですよ。それは地味なものなのですよということを訴えているわけである。



その左手には「直心館道場」の木彫りの看板。気功道場の入口である。気功は終始、わがホリスティック医学の中軸を成してきた。

いまではおよそ130畳。50人が一度に太極拳が出来ることが自慢である。

命名の由来は国学者賀茂真淵(かものまぶち)のつらぬくに高き直き心をもてす。

かつその高きなかに雅びあり、直きなかに雄々しき心あるなり。

ここで日々さまざまな行事がくり広げられている。まず、患者さんのために一週間に15功法30番組の気功が用意されている。指導は病院の職員と患者会の世話人の人たちが担当する。

その患者会の定期的な会合がここで開かれ、私の『帯津良一「場」の養生塾』は毎週火曜日の午後。さらに「名誉院長講話」なるものも毎週金曜日午後開催される。





外科診察室の前の廊下も広々としている上に小鳥が飛び交う中庭が望めて居心地がよい。私はここを自分の死に場所ときめている。

2階から4階までは病室。99床、全部個室である。私が入院するときは個室がいいという理由からである。

病院の建物が新しくなって人心も新しくなったということか、特に若手の職員の志が高くなり、病院という場の自然治癒力の高まりを感じる昨今である。